1 破れ太鼓

©1949松竹

監督＝木下惠介



1949(S24)●松竹京都●白黒●1時間49分●脚本＝木下惠介、小林正樹●撮影＝楠田浩之●音楽＝木下忠司●美術＝小島基司
出演＝阪東妻三郎、村瀬幸子、森雅之、木下忠司、桂木洋子、宇野重吉、沢村貞子

❖暴君を貫く家長（阪妻）と反発する子供達のお家騒動を描いた名作喜劇。沢村は一家の長男（森）と事業を立ち上げる叔母役で、珍しい洋装姿が素敵。

2 波の塔

©1960松竹

監督＝中村登｜原作＝松本清張



1960(S35)●松竹大船●カラー●1時間38分●脚本＝沢村勉●撮影＝平瀬静雄●音楽＝鏑木創●美術＝芳野尹孝
出演＝有馬稲子、津川雅彦、桑野みゆき、南原宏治、石濱朗、二本柳寛、沢村貞子

❖令嬢の輪香子（桑野）が思いを寄せる検事（津川）は、ある人妻（有馬）と逢瀬を重ね…。政財界の汚職事件を描いたサスペンス。沢村は輪香子の母役。

3 二匹の牝犬

©東映

監督＝渡辺祐介



1964(S39)●東映東京●白黒●1時間31分●脚本＝下飯坂菊馬、渡辺祐介●撮影＝西川庄衛●音楽＝渡辺宙明●美術＝森幹男
出演＝小川真由美、緑魔子、杉浦直樹、沢村貞子、若水ヤエ子、宮園純子、宮口精二

❖美容院を開く夢のため歓楽街で体を売る朝子（小川）のもとに、異母妹の夏子（緑）が現れて―。沢村扮する取り持ち女は見た目も強烈！

4 飢餓海峡

©東映

＊デジタル上映

監督＝内田吐夢｜原作＝水上勉



1964(S39)●東映東京●白黒●3時間3分●脚本＝鈴木尚之●撮影＝仲沢半次郎●音楽＝富田勲●美術＝森幹男
出演＝三國連太郎、伴淳三郎、左幸子、高倉健、三井弘次、加藤嘉、沢村貞子

❖謎多き凄惨な事件を捜査する刑事は、事件の鍵を握る女の行方を追うが―。実際の惨事をモチーフにした社会派推理巨篇。沢村は置屋の女将役。

5 危険旅行

©1959松竹

監督＝中村登



1959(S34)●松竹大船●カラー●1時間39分●脚本＝椎名利夫●撮影＝厚田雄春●音楽＝武満徹●美術＝芳野尹孝
出演＝有馬稲子、高橋貞二、三上真一郎、十朱幸代、伊藤雄之助、桂小金治、沢村貞子

❖マスコミから逃げ出した人気作家（有馬）と、彼女を偶然助けたカメラマン（高橋）とのラブコメ珍道中。漁師を束ねる女親方に扮した沢村が愉快！

6 カレーライス

©東映

監督＝渡辺祐介｜原作＝阿川弘之「カレーライスの唄」



1962(S37)●東映東京●白黒●1時間23分●脚本＝舟橋和郎、渡辺祐介●撮影＝田中義信●音楽＝渡辺宙明●美術＝中村修一郎
出演＝江原真二郎、大空真弓、筑波久子、若水ヤエ子、世志凡太、西村晃、沢村貞子

❖会社の倒産で失業した若い男女がカレーライス店の開業に奮闘するラブコメディ。大空のバイタリティ溢れるヒロインは魅力的で、沢村はその母役。

7 太陽を抱く女

©1964松竹

監督＝番匠義彰｜原案＝神坂三郎



1964(S39)●松竹大船●カラー●1時間25分●脚本＝富田義朗●撮影＝長岡博之●音楽＝牧野由多可●美術＝逆井清一郎
出演＝真理明美、三ツ矢歌子、山本豊三、清水まゆみ、小坂一也、佐野周二、沢村貞子

❖魅惑的でどこに行っても人を惹きつけてしまう“お手伝いさん”をめぐって起こる騒動を軽やかに描いた大家族コメディ。沢村はヒロインの母役。

8 波影

©TOHO CO.,LTD

監督＝豊田四郎｜原作＝水上勉



1965(S40)●東京映画●白黒●1時間46分●脚本＝八住利雄●撮影＝岡崎宏三●音楽＝芥川也寸志●美術＝伊藤熹朔
出演＝若尾文子、大空真弓、中村賀津雄、乙羽信子、山茶花究、浪花千栄子、沢村貞子

❖戦中戦後の混乱を背景に、薄幸ながら情熱的に生きたひとりの娼婦と、彼女を慕う人々との交流を描いた感動篇。沢村は強烈な教育者役。

9 晩菊

©TOHO CO.,LTD

監督＝成瀬巳喜男｜原作＝林芙美子「晩菊」「水仙」「白鷺」



1954(S29)●東宝●白黒●1時間41分●脚本＝田中澄江、井手俊郎●撮影＝玉井正夫●音楽＝斎藤一郎●美術＝中古智
出演＝杉村春子、望月優子、細川ちか子、沢村貞子、有馬稲子、上原謙、小泉博、加東大介

❖かつて芸者仲間だった熟年の女たちの、それぞれの悲哀を描いた名篇。杉村、望月、沢村、細川、四人のベテラン女優が織り成す名演が胸を打つ。

10 女ばかりの夜

©TOHO CO.,LTD

＊デジタル上映

監督＝田中絹代｜原作＝梁雅子「道あれど」



1961(S36)●東京映画●白黒●1時間32分●脚色＝田中澄江●撮影＝中井朝一●音楽＝林光●美術＝小島基司
出演＝原知佐子、北あけみ、淡島千景、浪花千栄子、春川ますみ、香川京子、夏木陽介、沢村貞子

❖売春防止法施行後、更生施設に収容された娼婦たちが新たな人生を切り開くため苦闘する姿を描いた社会派女性映画。沢村は施設の職員役。

11 無法松の一生

©東映

監督＝村山新治｜原作＝岩下俊作「富島松五郎伝」



1963(S38)●東映東京●白黒●1時間44分●脚本＝伊藤大輔●撮影＝飯村雅彦●音楽＝三木稔●美術＝中村修一郎
出演＝三國連太郎、淡島千景、島村徹、中山昭二、西村晃、沢村貞子、花澤徳衛

❖阪東妻三郎、三船敏郎、勝新太郎でも映画化された人情ものの名作で、本作東映版では三國が松五郎をエネルギッシュに演じた。沢村は宿屋の女将役。

12 おんなの渦と淵と流れ

©日活

監督＝中平康｜原作＝榛葉英治「渦」



1964(S39)●日活●白黒●1時間55分●脚本＝成沢昌茂●撮影＝山崎善弘●音楽＝黛敏郎●美術＝大鶴泰弘
出演＝仲谷昇、稲野和子、北村和夫、加藤武、小池朝雄、川地民夫、沢村貞子、真屋順子

❖壊れゆく貞淑な人妻の悲劇を、実験的な映像を用いて描く、異色の官能ミステリー。沢村は、その演技の幅の広さを見せつける怪演ぶり！

2026年11月28日(土)～12月18日(金)・21日間

「❖=デジタル上映」マークのない作品は、全て35mmフィルムでの上映となります。　各回完全入替制

土日祝 平　日	11:00 12:00	13:15 14:15	15:30 16:30 ★夕暮れ割（平日のみ）	17:45 19:15	終映時刻 ↓
11月28日［土］	1-破れ太鼓	4-飢餓海峡❖	2-波の塔(16:50)	3-二匹の牝犬(19:00)	20:31
11月29日［日］	2-波の塔	3-二匹の牝犬	4-飢餓海峡❖(15:15)	1-破れ太鼓(18:45)	20:34
11月30日［月］	3-二匹の牝犬(11:30)	4-飢餓海峡❖(13:30)	1-破れ太鼓(17:15)	2-波の塔(19:30)	21:08
12月 1日［火］	4-飢餓海峡❖(11:30)	1-破れ太鼓(15:10)	2-波の塔(17:25)	3-二匹の牝犬(19:30)	21:01
12月 2日［水］	1-破れ太鼓(11:30)	2-波の塔(13:45)	3-二匹の牝犬(15:50)	4-飢餓海峡❖(18:00)	21:03
12月 3日［木］	2-波の塔(11:30)	3-二匹の牝犬(13:35)	4-飢餓海峡❖(15:30)	1-破れ太鼓	21:04
12月 4日［金］	4-飢餓海峡❖(11:30)	1-破れ太鼓(15:10)	2-波の塔(17:25)	3-二匹の牝犬(19:30)	21:01
12月 5日［土］	5-危険旅行	6-カレーライス	7-太陽を抱く女	8-波影	19:31
12月 6日［日］	6-カレーライス	7-太陽を抱く女	8-波影	5-危険旅行	19:24
12月 7日［月］	7-太陽を抱く女	8-波影	5-危険旅行	6-カレーライス	20:38
12月 8日［火］	8-波影	5-危険旅行	6-カレーライス	7-太陽を抱く女	20:40
12月 9日［水］	5-危険旅行	6-カレーライス	7-太陽を抱く女	8-波影	21:01
12月10日［木］	6-カレーライス	7-太陽を抱く女	8-波影	5-危険旅行	20:54
12月11日［金］	5-危険旅行	6-カレーライス	7-太陽を抱く女	8-波影	21:01
12月12日［土］	9-晩菊	10-女ばかりの夜❖	11-無法松の一生	12-おんなの渦と淵と流れ	19:40
12月13日［日］	11-無法松の一生	9-晩菊	12-おんなの渦と淵と流れ	10-女ばかりの夜❖(17:50)	19:22
12月14日［月］	10-女ばかりの夜❖	11-無法松の一生	9-晩菊	12-おんなの渦と淵と流れ	21:10
12月15日［火］	11-無法松の一生	10-女ばかりの夜❖	12-おんなの渦と淵と流れ	9-晩菊	20:56
12月16日［水］	12-おんなの渦と淵と流れ	9-晩菊(14:20)	10-女ばかりの夜❖	11-無法松の一生	20:59
12月17日［木］	9-晩菊	10-女ばかりの夜❖	11-無法松の一生	12-おんなの渦と淵と流れ	21:10
12月18日［金］	10-女ばかりの夜❖	11-無法松の一生	12-おんなの渦と淵と流れ	9-晩菊	20:56

★一部の作品に画・音の不良箇所がありますことを予めお詫び申しあげます。★作品名末尾の（ ）内の数字は上映開始時刻です。（ ）の無いものは日程表の上の通常時刻の上映開始となります。

当日入場料金＝一般¥1400／シニア¥1200／学生¥1000
各種割引＝水曜サービスデー・夕暮れ割(平日3回目のみ)・誕生日割(要身分証提示)＝一般／シニア¥1100
◉自由席定員制(99席) ◉整理番号制 ◉各回完全入替制

有料入場5回で1回無料の、お得なポイントカードサービス実施中!

● 1階チケット売り場にて整理番号付き入場券を販売いたします。(当日分のみ。販売開始:土日祝10:00、平日11:00) ● 開場は各回10分前を予定しております。 ● 上映開始後10分を過ぎてのご入場はお断りします。
● 混雑状況によってはご入場いただけない場合がございます。 ● 販売後の変更、取り消しはできません。

小学館グループ
神保町シアター JINBOCHO THEATER
地下鉄神保町駅A7出口3分／JR御茶ノ水駅御茶ノ水橋出口8分
Tel.03-5281-5132 https://www.shogakukan.co.jp/jinbocho-theater/ (千代田区神田神保町1-23)

